



学校通信

夕陽丘

第52号



【平成30年度 学校教育自己診断】

学校生活をより充実したものとするため、生徒・保護者の皆様と教職員に対して、学校教育活動や取組に関するアンケート（「学校教育自己診断」）を10月初旬に実施しました。今年も保護者704名の方からの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

- ・生徒に対する質問19項目中、肯定的回答率が80%以上を占めるものが13項目で、そのうち85%を超える項目は6項目となっています。「友達関係」「行事への取組」「あいさつ」「国際交流」等で高い数字となっています。「進学講習」はポイントを上げていますが、2年生は83.9ポイントと高く、生徒教職員ともに、早い時期から進路実現に向けた対応が出来ていると考えています。

- ・保護者の皆様においても、19項目中16項目で肯定的回答率が80%を超える結果になっており、特に、「学校行事への参加」「国際交流」「PTA活動」等の6項目においては90%以上の高い評価をいただいています。今後、学校行事への参加率の高さを生かし、保護者の皆様との連携をより深く行って行きたいと考えます。

- ・教職員については、「授業の工夫」「進路指導」「国際交流」に関する項目において肯定的回答率が90%をこえています。

- ・自由記述欄に上がっていました、部活動の活動時間等については、各クラブのスケジュールに合わせた形で、休みを計画的に取るように取り組んでいます。活動環境等の不便さについては、できることから対応を考えています。また、保護者の皆様から、メールマガジンに関する問合せとトイレに関するご意見をいただきました。メールマガジンについては、府のサーバーの使用が集中すると、届きにくくなることもあるので、緊急時は本校 Web ページの「緊急連絡掲示板」を確認願います。合わせて、メールマガジンに代わる連絡方法を研究しています。トイレについては、ご不便をかけたことが、10月末に改修工事が完了し、生徒にも好評です。

その他いただきましたご意見も今後の教育活動に反映してまいりたいと思います。

平成30年度学校教育自己診断 肯定的回答率

	質問項目	30年度	29年度
生徒	学校での友達関係はうまくいっている	94.3	94.8
	学校行事は充実していて楽しい	90.0	92.9
	学校内で、先生や来客の方にあいさつができています	88.2	91.1
	国際感覚を養うような国際交流の機会がある	89.6	90.6
保護者	学校での友達関係はうまくいっている	92.1	95.2
	体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている	96.7	97.7
	学校は、子どもの国際感覚を養うような国際交流行事を実施している	93.2	91.1
	PTA活動は、活発に行われている	91.0	91.3
教職員	この学校には、他の学校にない特色がある	96.4	95.0
	生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている	96.4	100
	生徒一人ひとりが興味・関心、適正に応じ進路選択ができるよう、指導している	94.6	91.7
	子供の国際感覚を養うような国際交流活動が行われている	94.6	95.0

※他の項目、詳細はHPをご覧ください。

## 【第一学年】

### 「73期生 学年末に向けて」

1年学年主任 若林 満輝

73期生も早いもので、いよいよ学年の締め切りの時期となりました。

四月入学以来、日々の学校生活や色々な行事に参加している姿を見ていて、73期生個々の持つ「ポテンシャル」の高さ、またクラス、学年としての「まとまり」というパワーを強く感じてきました。

夕陽丘高校に入学し、今までの環境が大きく変化し、精神的にも肉体的にも負担が大きかった中で、自分の実力を発揮するには新しい環境に溶け込むしか方法が無かったと思いますが、中には自分自身を見失うほど新しい環境に飲み込まれてしまい、力を発揮できなかった人もいるかと思います。

環境が大きく変化する中、精神の安定を図るには自分を取り巻く新しい環境に「慣れる」ことが大切ですが、「慣れすぎ」てはいろいろな停滞が起こってしまいます。

言い換えれば、自分のもっている力を発揮するためには新しい環境に「慣れる」ことは大変重要ですが、逆に「慣れすぎてしまう」ことは力を十分発揮できない原因になってしまうということです。

皆さんは、入学以来いろいろな新しいことに会ったときに、なかなか「慣れる」ことができなかったり、「慣れすぎた」ために、油断したり、失敗したりして成果が出せなかったこともあったのではないのでしょうか。

しかし、失敗するとか結果が出せないということは決して不名誉なことでは無いと思います。不名誉なのは、失敗や負けることで駄目になってしまうことだと思います。一度や二度の失敗や結果が出せなくても、次にどうするのかを考えて行動を起こすことが大切です。

73期生の皆さんには、今後も変化して行く環境に早く「慣れる」ことはもちろんですが、「慣れすぎる」ことなく心に適度な緊張感を持ち、絶えず新しい発見を目指して今後も努力してほしいと思います。

## 【第二学年】

### 「自分たちで創った 4Days Trip」

#### ～72期生修学旅行〈10/28～10/31〉

第二学年主任 山村 文人

高校生活、最大の行事、修学旅行。72期生は「自分たちで創る4Days Trip」をテーマにその4日間に向けて様々な取り組みをしてきました。台風21号による大きな被害を受けた関西空港、本当に出発できるのかと心配しましたが、10月28日(日)、早朝7時という早い時間にもかかわらず、無事集合・出発することができました。桃園から台南までの新幹線には、そのシステム構築に夕陽丘の卒業生、仲津英治氏が関わっていたという親近感もあり、また事前学習で鑑賞した映画『KANO 1931 海の向こうの甲子園』の舞台である嘉義を通り、日本とは違う風景に見入っているうちにあっという間に台南に到着しました。天候にも恵まれ、最初の観光地、安平古堡では美しい夕暮れの光の中で、はるばると移動してきた距離を感じた一日でした。

10月29日には、姉妹校である国立鳳新高級中学校との交流。到着すると同時に、熱烈な歓迎を受け、両校の挨拶・セレモニーの後は、歓迎の合唱や演奏、ダンスのステージを見せていただきました。夕陽丘の側からも、音楽選択者によるボディパーカッション、ダンス部によるダンスパフォーマンス、全員での合唱を披露しました。合唱に選んだのは、台湾で大変人気のあった「我的少女時代」の主題歌「小幸運」でした。この歌の存在を教えていただいたのは、昨年5月に台湾を知るための講演をくださった谷井隆夫先生でした。素朴なメロディに少し切ない歌詞、台湾華語を交えての合唱は聴いていて胸が熱くなりました。授業や給食をともにし、クラブ別の交流活動もし、忘れがたい一日となりました。

名残惜しく鳳新を出発した後、クラス別選択コースで、1・4・5・8組は烏山頭水庫方面へ、2・3・6・7組は龍虎塔・大東夜市へと向かいました。今回の修学旅行にあたっては各クラスの修学旅行委員が丁寧なプレゼンテーションをしてくれたことが、大きな力となりました。

10月30日、台北までもどった後、今度は、グループでの台北のフィールドワークです。各グループに1名現地の大学生がガイド役として付き、各グループが日本から考えていったポイントを回りました。64のグループが、異国の街、台北を好奇心いっぱい歩いた数時間でした。集合場所の中正記念堂自由広場に戻ってくる頃には、大学生ともすっかり仲良くなり、皆で記念写真を撮る様子が印象的でした。その日の夕食会場での、全体レクリエーションも大いに盛り上がりました。

10月31日、最終日、今回の旅行の最後の見学地は孔子廟でした。6月の古典の時間に学習した『論語』ですが、学問の神様を祀った孔子廟の見学は、「旅行から帰ったら受験生」の72期生にとっては、第一志望を必ず突破しようという思いに火がついたのではないのでしょうか。孔子廟の外壁には「学問に近道はない 一生懸命修行しなさい」という意味の言葉が書かれているそうです。

出発してしまえば、あっという間の4日間でしたが、それぞれがその準備のために調べたり、用意したり、練習したり……、けれどもそれに要したエネルギーの何倍もの実りのあった修学旅行でした。帰ってきてからのアンケートでは、92.7%が「大変満足」「満足」と答えてくれました。苦勞して、自分たちの手で「創った」という実感がこの数字になったのではないのでしょうか。これからの高校生活の後半も、自分自身の手で創りあげてほしいと願います。



## 【第三学年】

### 「最後の最後まで粘って夢を叶えよう」

3学年主任 森川 栄一

71期生の高校生活も残すところ、卒業式予行と、卒業式を残すのみとなりました。入学時に「夢叶う71期」というスローガンを掲げ、「320名全員卒業」という目標を持ってスタートしましたが、残念ながら諸々の事情でその夢は叶いませんでした。

卒業を目前に控えた310名余りの中でも、置かれている状況は様々です。指定校や推薦入試で志望校合格を果たした人、本当におめでとう。「夢を叶える」ために君たちが積み上げてきた努力に敬意を表します。

推薦入試で合格の切符を手に入れられなかった諸君、失敗に落ち込む必要もなければ自信を失う必要もありません。大学入試は高校入試とは違い、同じ大学、学部は何回もチャレンジできます。残された日々を焦ることなく全力で頑張れば、結果は必ずついてきます。

国公立、関関同立等の一般入試に照準を合わせて、志望校合格に挑む人、目標は高ければ高いほど、叶えられた時の喜びは数倍にもなって返ってきます。模試でD、E判定でも可能性は残されています。入試の成否を決めるのは学力+ $\alpha$ 。その $\alpha$ とは「志望大学に何が何でも入りたいという強い気持ち」です。その気持ちが強ければ強いほど好結果を生んでいます。

「最後まであきらめない」姿勢が、最後の最後で志望校合格をつかみ取ることが往々にしてあります。前期がだめでも、中期、後期があります。あきらめずに努力を続ければ必ずどこかで結果が出ます。「夢を叶える」ためには「最後まで粘る」ことが肝要です。

入試が終わった人は、4月から始まる大学生活のステップとなるよう自由に過ごせる2月、3月を有意義なものとして下さい、71期生全員が「有終の美」を飾って夕陽丘を築立つことを願い、夢を叶えるために努力している君たちの成功を心より応援しています。

## 【音楽科】

### 6月関西フィルと共演

昨年度の定期演奏会で客演指揮をお願いした藤岡幸夫氏とのご縁で2018年6月21日に関西フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会に出演させていただきました。世界的に活躍されている作曲家の大島ミチル氏がこの演奏会のために書かれた作品《アウグストゥス》を音楽科生徒全員が合唱で参加しました。世界初演となる作品に取り組むことは生徒たちにとってこの上ない経験となりました。



定期演奏会

### 10月ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会

音楽科の学習成果発表の場として毎年ご好評いただいている定期演奏会は今回から会場をザ・シンフォニーホールに移しました。客演指揮者には昨年に引き続き、また6月にもお世話になった藤岡幸夫氏をお迎えし管弦楽演奏ではチャイコフスキーのバレエ音楽《くるみ割り人形》などを演奏しました。合唱と管弦楽との合同演奏では《アウグストゥス》の再演に取り組みより多くの方に大島ミチル氏の素晴らしい作品を聴いていただくことができました。

### 12月クリスマスコンサート

藤井寺の市民会館パープルホールで音楽科として初めての企画となる『クリスマスコンサート』を開きました。音楽科の1・2年生全員で和楽器演奏・アンサンブル・合唱・管弦楽などを披露しました。卒業生によるゲスト演奏として、音楽科講師でもある生熊先生、密山先生、宋先生にも素晴らしい演奏を聴かせていただくことができました。司会も生徒たちが交代で出て曲目解説などを行ない、アットホームな雰囲気でのコンサートになりました。



クリスマスコンサート

## 有志参加による近隣でのコンサート

### 『警察病院ロビーコンサート』

2018年7月に大阪警察病院で入院されている患者さんに向けたロビーコンサートを有志22名で行ない、重唱・合唱・楽器演奏などを聴いていただきました。



『警察病院ロビーコンサート』



クリスマスコンサート

### 『セントポリアこいのぼり・クリスマスコンサート』

2018年は5月と12月の2回、セントポリアマンションにてコンサートをさせていただきました。身近な距離でお客様の反応を感じながら演奏することができる非常に貴重な機会でした。

♪今後の行事♪・・・ヴィオーラホール改修工事のため学外で開催します。  
1月26日(土) 第170回ピッコロコンチェルティスタ  
15:30開演 リビエールホール(小ホール)(近鉄大阪線:安堂駅下車)  
2月9日(土) 音楽科3年生演奏会  
10:30開演 堺市立東文化会館(南海高野線:北野田駅下車)

## 【国際交流委員会】

### 留学生との新たな出会いと学校交流

委員長 池田 亜優

夕陽丘高校では、グローバル人材の育成を教育方針の4本柱の1つに掲げ、様々な国際交流活動を行っています。保護者の皆様には、日頃から本校の国際交流活動に対するご理解ご支援を賜り感謝申し上げます。生徒の皆さんには、自分の価値観を広げるような体験をしてもらいたいと思っています。留学生に声をかけてみたり、何か国際交流体験の募集があれば応募してみたり、興味があるならば、一歩を踏み出して目の前にあるチャンスに積極的にチャレンジしてみてください。

〈2018年度活動報告〉

**行事** ※本校ホームページから詳しい交流の様子をご覧頂くことができます。

- ・姉妹校・ニューヨーク、クラークスタウン高校来校、ホームステイ受け入れ 6月
- ・AIG 米国高校生外交官日本プログラム来校 7月
- ・ISA エンパワーメントプログラム 8月
- ・ISA イングリッシュキャンプ 10月(1年生)
- ・台湾修学旅行、姉妹校・鳳新高級中学と交流 10月(2年生)

- ・“It's a small world” 大阪教育大学に来ている留学生の皆さんとの交流 11月（2年生）
- ・オーストラリア、マランダ高校教員来校 12月

### 留学生受け入れ

現在、9名の留学生が在籍しています。アメリカ・オーストラリア・韓国・スイス・フィンランド・フランス・マレーシア・ミャンマーからの生徒たちです。そのうち、韓国・マレーシア・ミャンマーの生徒たちは、日本政府事業「アジア高校生架け橋プロジェクト」の1期生たちです。各クラスに1人ずつ入り、夕陽の生徒たちとともに勉強したり行事やクラブ活動に参加したり、お互いにたくさんのことを学んでいます。前期を含めると今年度夕陽丘高校に来た留学生は12名です。留学生たちは、本校で行っている日本語教室に毎週参加しています。本校の卒業生やPTAの方々のご支援下さっていて、日本語を学ぶだけでなく、日本文化を体験する行事も行っています。



### 〈今後の活動予定〉

- ・1月22日 韓国リンカーンMASANスクール交流、ホームステイ受け入れ
- ・毎年行っているハワイ・プナホウ高校との海を越えたコンサートに向けて音楽科2年生がスカイプを通して交流しています。（11月・1月・3月）
- ・3月14日～24日 ニューヨーク研修旅行
- ・3月22日～30日 ウィーン研修旅行
- ・来年度、姉妹校・鳳新高級中学の生徒たちが来校し、本校生徒のご家庭に5月26日（日）1泊ホームステイをする予定です。ご協力よろしくお願い致します。

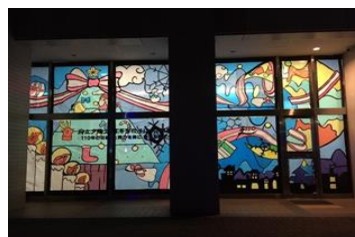
## 【夕陽丘高校自治会執行部より】

### ウィンターフェスティバル 12月14日～12月21日

ウィンターフェスティバルは今年も文化部の発表や自治会企画などたくさんの催しがありました！14日の点灯式では例年よりたくさんの方にお越しいただき、自治会が飾り付けたイルミネーションや美術部のステンドグラスが会場を彩りました。合唱部、音楽科有志による合唱も、点灯式に華を添えました♪  
21日には夕陽初！【越冬迎暖際】と題して、ウィンターフェスティバルを締めくくりました。文化部の工夫を凝らした発表や、先生方に登場していただいたビンゴ大会など、見ごたえのあるお祭りとなりました(^o^)ウィンターフェスティバルを支援していただいた清香会の皆様には本当にお世話になりました！



↑イルミネーションの様子



↑美術部作、おしゃれなステンドグラスです！

## ボランティア

赤十字主催の献血ボランティアに出向き、難波の高島屋前で献血PRを行いました。  
ポケットティッシュを配ったりお声掛けをしたりしたのですが、最初はなかなかうまく献血をPRすることができませんでした。しかし少しずつ慣れてくると街行く人たちが話を聞いてくれたり、私たちのPR活動で献血に参加してくれたり、とてもやりがいのあるボランティアとなりました。  
これからも私たちにできることは何かを考えて、ボランティアなどにも積極的に参加したいと思います！！！！



昨年は様々な自治会活動に協力していただきありがとうございました！  
これからもよろしくお祈いします！  
by 自治会長

## 【進路指導部】

平成30年(2018年)

### 推薦入試等実合格者数中間集計(判明分のみ)

大学	合格者数	昨年度
大阪教育大学	4(4)	3(3)
大阪府立大学	1(1)	2(2)
愛知県立芸術大学	1(1)	
和歌山大学	1(1)	
同志社大学	1(1)	4(4)
立命館大学	2(2)	2(2)
関西学院大学	8(8)	9(9)
関西大学	10(10)	10(10)
京都産業大学	1(1)	2(6)
近畿大学	20(48)	13(41)
龍谷大学	4(11)	4(11)
京都女子大学	3(3)	4(7)
同志社女子大学	8(11)	10(11)
武庫川女子大学	10(11)	6(10)
関西外国語大学	11(22)	2(10)
畿央大学	8(12)	4(15)
摂南大学	4(18)	1(4)
追手門学院大学	2(4)	1(1)
桃山学院大学	4(10)	
佛教大学	2(3)	1(1)
大和大学	6(7)	
大阪音楽大学	3(3)	3(3)
大阪経済大学	2(3)	2(2)
大阪樟蔭女子大学	3(9)	2(6)
大阪薬科大学	1(1)	
大阪工業大学	1(2)	(2)
千里金蘭大学	1(1)	1(1)
阪南大学	1(10)	1(2)
甲南女子大学	4(6)	1(4)
帝塚山大学	2(4)	1(1)

短大	合格者数
白鳳短期大学	1

専門学校	合格者数
大阪スクールオブミュージック	2
ECC国際外語専門学校	2
修成建築専門学校	1
HAL大阪	1
ルトア美容専門学校	2
大阪文化服装学院	1
大阪警察病院看護専門学校	2
大阪アニメーションカレッジ	1

\* 各学校別の合格者数は現役の実合格者数  
( )内は延べ合格者数(浪人含む)

今年度の推薦入試について

国公立大学は、大阪教育大学をはじめ、4大学に計7名が合格しました。  
入学定員の厳格化の影響により、今年の公募制推薦入試は非常に厳しいものとなりました。特に近畿大学は、昨年に比べて合格者数が約1000人減の厳しい入試になりましたが、71期生は大変健闘したと思います。  
1月になると、大学入試センター試験があり、私立大学の一般入試も始まります。  
いよいよ受験シーズン本番です。  
3年生のみなさん、体調に気をつけて入試で実力を発揮してください。  
みなさんを応援しています！  
最後までがんばれ、71期生！！

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校  
TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp  
ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

### 電話対応について(ご協力のお願い)

大阪府教育庁より、教職員においても「働き方改革」の観点から、長時間勤務の縮減が求められています。その一環として、電話の受付を8：00～17：00として試行実施しますので、ご理解ご協力願います。